

# ラオス学校建設教育支援プロジェクト～スーン～

## 【国際交流、教育】

ラオス、教育支援、国際協力



### ◆ 活動内容

早稲田大学が2009年にラオス・チャンパサック県に建設した二つの小学校、ノンビエン小学校とノンサ小学校で、継続的な教育支援活動を行う。普段のミーティングでは「遺産教育」と「衛生教育」の二つを軸とした授業づくりを中心に進め、年末年始に約10日間ラオスに滞在し授業を実施。授業以外にも、家庭訪問や先生交流を通じて現地の生の声を聞く活動や、世界遺産になっている寺院「ワット・プー」への訪問を行うなど、活動地域の理解を深める機会を設けている。

### ◆ メンバーの声

昨年度の活動で、私は2回目となる渡航へ行きました。そこで感じたのは、「継続支援だからこそ喜び」です。小学校へ足を踏み入れた時、去年一緒に遊んだ子たちが沢山私の元に駆け寄ってきました。中には去年私があげた物を大切に持ってきてくれた子もいました。この喜びはきっと継続支援をしていくスーンという団体だからこそです。毎年同じ場所に行くからこそ現地の人に寄り添った活動をしていきたい、そう思った渡航でした。

### ◆ 2026年度の活動目標

ラオス渡航の活動が制限されたコロナ禍が明け、3回の渡航を経た今期は、団体としての基盤が確立されてきたと感じる。その基盤の元、図書館プロジェクトの再生など、様々な挑戦と成長をしていく年にしていきたい。同時に、変化の中でも、「共に考え、共に感じる」という理念のもと、子どもたちにとって何が大切なのかを議論の軸とする姿勢は継続し、渡航に向けて準備を進めていきたい。

### ◆ サークル情報

設立年： 2009年  
メンバー数： 17人  
活動頻度： 週2回  
主な活動場所： WAVOC会議室  
参加費用： 渡航費 約20万  
その他ワクチン代など 約5万円

### ◆ 2026年度の年間活動スケジュール

4月：新歓活動  
5月：ラオスフェスティバル出展  
6月～12月：授業作り  
11月：早稲田祭出展、リハーサル  
12月下旬～1月上旬：ラオス渡航  
1月～3月：渡航の振り返り、来期の年間計画、

## 広報

ウェブサイト

Instagram

X

